10/16 戦没者を悼み平和を祈念
平成30年度 南阿蘇村戦没者追悼式

祭壇に向かい献花を行う参列者

平成30年度の「戦没者追悼式」が、ホテルグリーンピア南阿蘇で行われ、戦没者の遺族や関係者約140人が参列しました。

式典では、吉良村長をはじめ、参列者一人ひとりが献花台に花を手向けました。

式典の最後には、村遺族会会長の古澤育男さん（沢津野）が「戦後71年が過ぎ、遠く祖国を離れた戦場において国家の安泰と肉親の幸せを念じながら一命を捧げられた御英霊の心情に思いをいたします。御霊のとこしえに安からんことを祈ります」と述べられました。

10/14 神に捧げる伝統の舞い
阿蘇復興 火の神つながる阿蘇とハワイ 神楽と古典フラのフェスティバル

❶「白水村祇園の岩戸神楽保存会」による神楽　❷160人以上のフラダンサーによる歌と踊り「Ua Nani Asosan ～美しい阿蘇山～」

日本の神楽と、ハワイの伝統的な舞い「古典フラ」の共演イベント「神楽と古典フラのフェスティバル」（主催 Ua Nani Asosan実行委員会）が、あそ望の郷くぎので開催されました。

ステージでは、ハワイ島から訪れた伝統文化継承者らの古典フラや、村白水地区や高森町の保存会などによる神楽が披露されました。全国各地から集まった160人以上のフラダンサーが一斉に踊る場面もあり、来場者の目を惹きつけていました。

10/28 離れていてもつながる想い
南阿蘇大復興祭2018

東海大学書道部による音楽に乗せた書道パフォーマンス

「南阿蘇大復興祭2018」（主催 南阿蘇大復興祭実行委員）が、道の駅「あそ望の郷くぎの」で開催されました。

イベントを運営するのは、熊本地震で農学部キャンパス（黒川）が被災した東海大学の大学生。震災が起きた年から実施しており、今年も村の現状と魅力を広く発信し、地域とのつながりの場にしようと企画されました。

当日は東海大学農学部が育てた羊の毛を使ったクラフト体験や、大学生によるダンスや音楽、書道のステージ発表などが行われ、特色たっぷりの催しに会場は多くの来場者で賑わっていました。

10/1 箱いっぱいに花ひらく
両併小学校 フラワーアレンジメント教室

一人ひとり
工夫をこらした作品が完成

両併小学校体育館で、フラワーアレンジメント教室が行われました。これは「熊本県花き協会」が募集する事業で、県花き園芸農業協同組合や県内の生花店から訪れた講師を迎え実施されました。

児童たちが取り組んだのは、スポンジを入れた小さな箱の中に花を生ける「ボックスフラワー」づくり。講師のアドバイスの下、花の種類や色、配置を考えながら自分でアレンジし、それぞれの作品を作り上げて持ち帰りました。

10/29 地域への思いが子どもたちの笑顔に
ちょうよう保育園芋ほり体験

園児の顔より大きい芋もたくさんあり、歓声があがる場面も

ちょうよう保育園年長組の園児による芋ほり体験が、旧立野保育所で行われました。

この企画は、同旧園を事務所とし立野地域の裏山の治山工事を行っている「緒方・土井建設工事共同企業体」からの提案を受けたもの。地域の復興イベントに活用してほしいと、敷地内でサツマイモを栽培されたことにより実現しました。

当日は20人の園児が参加し、同社職員の方と一緒に泥だらけになりながら収穫。収穫後は園児から同社の皆さんへお礼の言葉が送られ、笑顔であふれたイベントとなりました。

10/28 駅舎の前で今年も開催
第6回白川水源駅祭

米を手ですくって100gを目指す「米グラムチャンピオン」

南阿蘇鉄道 南阿蘇白川水源駅の駅前広場で、地元で組織される「白川活性実行委員会」主催の「第6回白川水源駅祭」が開催されました。

今年もくまモンの登場やヤマメのつかみどり、大抽選会などが行われ、多くの出店が並んだ会場は地元住民をはじめ村内外からの来場者で賑わいました。

ステージイベントでは、決められた量を目指して米や野菜を器に取ったり水を飲んだりするゲームが行われ、挑戦者も観客も大いに盛り上がりました。

11/5 おすもうさんと楽しくふれあい
村内3保育所を大相撲力士が訪問

みんなで一緒に
記念撮影
（左：翔猿さん）

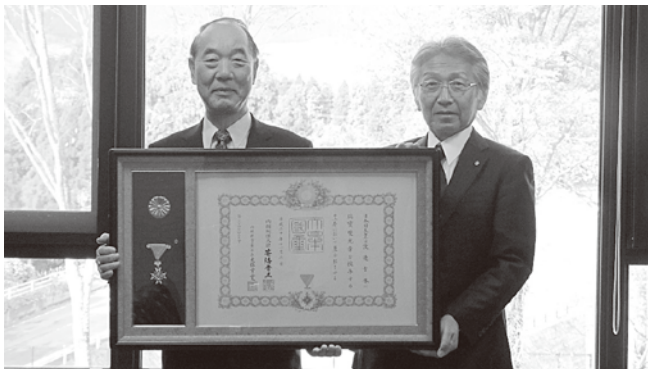
1人対園児5人で力比べ
（右：大栄翔さん）

11月5日、村内3保育所に日本相撲協会の力士2人が訪れ、園児たちとの交流が行われました。

3保育所を訪問したのは、追手風部屋（おいてかぜ）の大栄翔（だいえいしょう） 勇人（はやと）さんと、翔猿正也（とびざるまさや）さん。

ちょうよう保育園では、お相撲さんの大きな体と優しい受け答えに園児たちは大はしゃぎ。その後、力士のお2人はそれぞれ白水・久木野保育所を訪問し、園児たちと交流されました。

11/3 保護司としての活動に尽力
渡邉　吉保さん（中松二）



受章された渡邉吉保さん（左）と吉良村長

平成30年秋の叙勲が11月3日付けで発令され、渡邉吉保さん（中松二）が、瑞宝双光章を受章されました。

渡邉さんは、30年以上にわたり保護司として活動。現在も白水総合センター内に更生保護相談室「陽（はる）」を開設し、不幸にして犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを支えるためにご尽力されています。

今回、長年の社会奉仕に対する功績が認められての受章となりました。